



英語教育効率化のための言語情報処理

[キーワード: 英語学・言語情報処理]

准教授 中島浩二

<研究の概要>

通時および共時言語学の立場から英語を分析したり、コンピュータプログラミングによる言語情報処理や語学教材開発をおこなっている。具体的には、以下の3点を研究・教育の柱としている。

- 1) 現代英語のしくみを理解するためには、共時的視点に加えて通時的視点も不可欠であるとの立場から、古英語・中英語・現代英語という通時的変化を視野に入れて研究している。現代英語の語彙の大半は他言語からの借用語で成り立っているという事実から、古典ギリシャ語、ラテン語、フランス語、ドイツ語などの諸言語、さらにはインド・ヨーロッパ祖語に遡って、視野を広く持って語源研究をすることが大切だと考えている。
- 2) 現代の英語を分析するには言語コーパスの利用が不可欠である。電子的に記録された数千万語から数億語という大量の言語データを分析するためには、自らプログラムを書いて言語情報を処理する技術が必要となる。これまで、言語データやコーパスを処理するためのプログラム、さらに英語教育に利用するためのWebプログラムを数多く、コンピュータ言語Perl やPythonを用いて開発してきた。そのうちいくつかは、Web上で一般に公開している。教育面では、言語データを情報処理するプログラミング技術の指導に力を入れている。
- 3) 英語の実用的側面としては、ニュース英語をはじめとする時事英語に興味を持って研究してきた。ナチュラルスピードの速い英語を英語のまま理解できる能力の向上を目標に学生指導している。

<主要研究業績>

- ・中島浩二 (2007) 「CGIを利用した自動採点・集計システムの開発と英語教育への応用」『言語文化研究』第15巻、徳島大学総合科学部、pp.113-126
- ・中島浩二 (2008) 「正規表現を使った英語コーパス検索システムの開発と帰納的言語教育の可能性」『言語文化研究』第16巻、徳島大学総合科学部、pp.151-163
- ・中島浩二 (2011) 「Webベース英語ディクテーションテスト・採点集計システムの開発と教育利用」『e-Learning教育研究』第6巻、e-Learning教育学会、pp.1-10
- ・中島浩二 (2013) 「Category ReferenceとGenre Classification Schemeを利用したBNC World Edition Webベース・コンコーダナーの開発」『HYPERION』第59巻、徳島大学英語英文学会、pp.47-61
- ・中島浩二・吉田友紀子・岸江信介著 (2014) 「KWIC検索システムを併用した国会会議録のテキストマイニング分析」『テキストマイニングによる言語研究』ひつじ書房、pp.21-38

専門分野 : 英語学、言語情報処理、時事英語

E-mail: knakasima.kj@tokushima-u.ac.jp

Tel : 088-656-7151

HP : <http://uzu.ias.tokushima-u.ac.jp/staff/nakasima/>

詳細情報 : <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/73855/profile-ja.html>